



「ヘアドネーション」をご存じですか？

ヘアドネーションとは、病気の治療による副作用や、病気が原因で髪の毛を失ったためにメディカルウィッグ（かつら）を必要とする人々に、ウィッグの原料となる毛髪を間接的に提供すること。自分が切った髪を活動団体へ送れば、寄付できる仕組みです。



今回、保健センター職員の家族がドネーションするというので、その様子取材しました！

ヘアドネーションの流れ

1 美容室を決める

ヘアドネーション活動団体の「賛同サロン」、または通い慣れた「行きつけのサロン」、どちらでも大丈夫です。予約時に「ヘアドネーションをしたい」旨を必ずお伝えください。



2年半伸ばしたという体験者。せっかく短くするなら、社会の役に立ちたい！と、初めてドネーションをしました。今回の寄付先「JHD&C」は31 cm以上で寄付ができます。

2 寄付する髪の毛の長さを決める

寄付先によって、寄付できる髪の毛の長さや条件が違います。カット前に今一度、ご確認ください。インターネットで「ヘアドネーション」と検索すると、色々な活動団体を検索できます



髪の毛を小分けにしていよいよカット！
仕上がりのヘアスタイルを考えて、カットの長さを決めました！

3 髪の毛を切る

細かい束に分けてゴムできつく結んだら、結び目の1 cm上をカット。



4 発送する

カットした髪の毛を、ご自身で活動団体に送ってください。



髪の毛を袋に入れて、完了。
髪もすっきり！気持ちもほっこり！
また、伸びたら、寄付しようかな。

1つのウィッグをつくるには、20~30人分の髪が必要です。
多くの人の髪の毛が必要とされています。